

☆視 点

統計で見る米国紡織産業

米国の紡織産業は1990～2000年代より急速に縮小し、現在では1～2割の規模に縮小している。一方で、そうした動向を伝えてきた政府統計が昨年、停止に至っている。以下はその概要である。

1. 米国の綿紡産業はこの20年で1割の規模に縮小

米国は、1990年には1,000万錘を超える綿紡設備を保有し、豊富な国産綿花を背景に、世界でも有数の紡績国であった。しかしながら最近では100万錘を割り、この20年で1割のレベルに縮小してしまった。中国の大手紡績メーカーである魏橋は800万錘の規模と言われ、国全体でも一企業を大きく下回る規模になった。

米国の綿紡設備推移

年	据付設置錘数							運転錘数 1000錘	稼働時間 100万錘時間
	計 1000錘	機種別			業態別				
		リング 1000錘	エアジェット 1000錘	オープンエンド 1000錘	織布業 1000錘	紡績・縫糸業 1000錘	その他 1000錘		
1989	11,550	10,971	...	579	7,330	2,860	1,360	9,706	14,811
1990	10,541	9,848	...	693	6,900	3,165	476	9,706	14,811
1991	9,837	9,051	...	786	6,289	3,227	321	9,164	14,760
1992	8,690	7,857	...	836	5,628	2,723	339	8,240	4,537
1993	8,046	7,086	...	960	5,131	2,558	357	7,513	4,261
1994	7,266	6,261	...	1,005	4,496	2,428	342	6,824	3,918
1995	6,627	5,680	...	947	4,014	2,307	306	6,079	3,237
1996	5,879	4,903	84	892	3,430	2,243	206	5,401	3,101
1997	5,558	4,527	106	925	3,148	2,285	125	5,246	3,229
1998	5,337	4,282	106	949	2,958	2,256	123	5,017	2,773
1999	4,712	3,706	111	895	2,524	2,071	117	4,387	2,624
2000	4,214	3,290	113	811	1,510	2,664	40	3,952	2,265
2001	3,135	2,354	97	685	1,032	2,076	28	2,861	1,459
2002	2,805	2,034	96	676	871	1,912	22	2,649	1,368
2003	2,335	1,697	80	558	680	1,648	6	2,207	1,254
2004	2,238	1,597	65	576	559	1,672	6	2,144	1,230
2005	1,998	1,430	66	502	...	1,570	428	1,870	988
2006	1,681	1,228	82	371	...	1,328	353	1,528	840
2007	1,389	994	37	357	...	1,171	218	1,377	747
2008	1,276	905	31	340	...	1,034	242	1,213	522
2009	1,016	708	26	282	...	850	166	968	574
2010	999	670	26	303	...	840	159	939	711
2011	965	635	26	304	...	824	141	906	546

(出所) 米センサス局 Current Industrial Report

(注) 各年末。2011年は7月

2000年に産業標準分類がSICからNAICSに変更されたため「業種別」は不連続

機種別にみると、リング精紡機が約 1,000 万錘から 64 万錘へと大きく減少した一方、オープンエンド（OE）紡機は 70 万錘から 30 万錘と減少幅が比較的小さい。

OE 紡機の生産性はリング紡機の 3 倍近いといわれる。これを勘案すると、1990 年でリング紡機の 985 万錘に対し、OE 紡機はリング紡機換算で約 2,100 万錘である。当時から主流の機種であったことがわかる。OE 紡機は生産性が良い反面、細ものを作るのは苦手と言われる。米国の紡績産業は、太ものではあるが、競争力のある寝装用、バスタオル用等を中心に生き残りをかけたとみられる。

業態別にみると、1990 年代までは織布兼業が全体の 6 割を占め、主流であった。当時、米国の紡績業の特徴として、大規模垂直一貫による、低コスト・大量生産が指摘されていたが、市場の縮小とともにそうした業態が成り立たなくなっていくものと推察される。

州別には、ジョージア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州の南部 3 州で全体の約 4 分の 3 を占めている。

米国の紡績設備（2011年7月）

（1000錘、100万錘時間）

		据付錘数	運転錘数	稼働時間
州別	ジョージア州	257	249	136
	ノースカロライナ州	306	280	167
	サウスカロライナ州	143	118	59
	その他	259	259	185
機種別	リング紡機	635	587	370
	エアジェット紡機	26	26	13
	オープンエンド紡機	304	294	163
業態別	糸専業	824
	その他（織布兼業等）	141
合計		965	906	546

（出所）同上

2. 米国の織布産業はこの 10 年で 2 割弱の規模に縮小

米国の織布産業の動向をしてみる。織機統計は 2004 年に発表されなくなつたため、生産統計で動向をしてみる。

米国の織物生産は意外なことに、1990 年代は 130 億 m² で横ばいを維持していた。それが 2000 年代に入り、急速に減少し、2010 年は 130 億 m² の 17% 程度の規模である 23 億 m² に縮小している。

素材別の動向は 2004 年までしか把握できないが、2004 年とそれまでのピークである 1997 年を比較すると綿織物が半減したのに対し、化繊は 7 割の水準を保っており綿織物中心に縮小が進んだものと推察され

る。

なお、タイヤコード織物は 2000 年まで拡大を続けていたが、その後は減少傾向となっている。2010 年はピーク時である 2000 年の 77% のレベルと、その他が大きく減少している織物生産の中で健闘している。

米国の織物生産推移

年	素材別			織物生産 計	形態別				タイヤコード*	ニット生地
	綿織物	化繊織物	毛織物		毛織物	先染織物	短繊維織物 (先染を除く)	長繊維織物	織物(1000ト)	(1000ト)
1983	3,505	9,583	120	13,208	246	
1984	3,346	9,910	133	13,390	256	
1985	3,278	9,027	116	12,421	225	
1986	3,649	9,000	117	12,766	201	
1987	3,990	9,393	141	13,525	225	
1988	3,873	9,507	159	13,538	295	
1989	3,837	9,166	147	13,151	312	
1990	3,732	8,915	118	12,765	326	
1991	3,682	8,875	142	12,699	327	
1992	3,846	9,470	147	13,464	346	
1993	3,682	9,731	154	13,566	362	
1994	3,740	9,967	149	13,855	398	
1995	3,753	9,828	136	13,716	434	
1996	4,010	9,483	138	13,632	441	
1997	4,246	9,823	146	14,216	455	
1998	3,974	9,619	111	13,704	442	
1999	3,722	9,911	65	13,697	427	
2000	3,675	9,036	56	12,767	490	
2001	3,099	7,863	44	11,007	446	
2002	2,947	7,541	23	10,510	434	
2003	2,423	7,006	19	9,448	444	
2004	2,106	7,076	16	9,198	410	
2005	7,809	22	595	2,787	3,970	405	484
2006	5,230	22	402	1,928	2,528	375	373
2007	4,144	18	361	1,390	2,137	427	278
2008	3,166	15	273	1,073	1,675	401	228
2009	2,249	13	207	304	119
2010	2,260	12	180	379	149

(出所) 同上

3. 2011 年 7 月に発行停止された CIR

以上のような統計情報のソースになっていたのが、米センサス局の Current Industrial Report(CIR)である。主要産業の統計を発表しており、繊維関係では近年は以下が発表されていたが、2011 年 7 月号をもって、繊維を含め CIR 全体の発行が停止された。予算上の問題という。

繊維関係の Current Industrial Report 一覧

コード	表題	発刊	最終発表	内容
M313P	Consumption on the Cotton System and Stocks	月	2011年7月	綿紡における綿花、化繊等の消費量等
MQ313A	Textiles	四半期	2011年第2四半期	紡績糸、加工糸、織物、ニット生地、タイヤコード、シャツ・枕カバー、タオルの生産等
MA314Q	Carpet and Rugs	年間	2010年	製品別のカーペット・ラグ生産・需給等
MQ315A	Apparel	四半期	2011年第2四半期	製品別のアパレル生産。需給等
MQ315B	Socks Production	四半期	2011年第2四半期	製品別のくつ下生産等

ちなみに上記表の「コード」にある3桁の数字は、北米産業分類体系（NAICS）の産業コードである。313はTextile Mills（紡織工業）、314はTextile Product Mills（紡織二次製品）、315はApparel Manufacturing（衣類製造）である。

CIRは統計大國米國を代表するような詳細な統計で、産業の動向がつぶさに把握できるようになっていた。

繊維関係はかつて、以下のように現在より更に詳細な統計が発表されていた。時代とともに、集約化・簡素化が進み、ここに至って発行停止となった。寂しい限りである。

コード	表題
MA313F	Yarn Production
MA22f	TEXTURED YARN PRODUCTION
MQ313D	Consumption on the Woolen System and Worsted Combing
MA313K	Knit Fabrics Production
MQ313T	Broadwoven Fabrics (Gray)
MQ314X	Bed and Bath Furnishings
MA23X	SHEETS, PILLOWCASES, AND TOWELS
MA315D	Gloves and Mittens

以上